

作成日：2022年10月30日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：レシードプラス箱粒剤

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310 FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪 (365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（殺虫殺菌剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の製品安全データシート（SDS）

「レシードプラス箱粒剤」（クミアイ化学工業株式会社、作成日：2022年10月05日）を参照してください。

安全データシート

作成:2022年10月5日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : RM002-01
製品名 : レシードプラス箱粒剤
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	: 区分2
	発がん性	: 区分1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系, 腎臓, 免疫系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系, 腎臓, 免疫系)
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・取り扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: 1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'-メチル-6'-メチルカルバモイル-3-[5-(トリフルオロメチル)-2H-テトラゾール-2-イル]メチル]ピラゾール-5-カルボキサニリド/一般名: テトラニプロール

3-(3,4-ジクロロ-1,2-チアゾール-5-イルメトキシ)-1,2-ベンゾチアゾール=1,1-ジオキシド/一般名: ジクロベンチアゾクス

成分及び含有量: テトラニプロール

1.5%

	ジクロベンチアゾクス	2.0%
<その他>	結晶質シリカ	87%
	その他成分	

化学式: C₂₂H₁₆C₁F₃N₁O₂ / テトラニリプロール
C₁₁H₆C₁₂N₂O₃S₂ / ジクロベンチアゾクス
O₂Si / 結晶質シリカ

官報公示整理番号: 安衛法 8-(1)-4335	テトラニリプロール
8-(7)-1817	ジクロベンチアゾクス
化管法 (1)-548	結晶質シリカ

CAS No.:	1229654-66-3 /	テトラニリプロール
	957144-77-3 /	ジクロベンチアゾクス
	14808-60-7 /	結晶質シリカ

4. 応急措置

応急措置

応急措置一般: ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合: 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療: 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤: 情報なし

火災時の危険有害性分解生成物: 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具: 適切な保護具を着用して作業する。

自給式呼吸器。

完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

応急措置: 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。出勤は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

保護具: 適切な保護具を着用して作業する。

環境に対する注意事項: 環境への放出を避けること。本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法: 漏出物を回収すること。

浄化方法: 製品は機械的に回収する。本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 情報なし

安全取扱注意事項: 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。個人用保護具を着用する。危険エリア内の床、壁、その他の表面は定期的に清掃しなければならない。作業所の十分な換気を確保する。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。部屋の排気および全般的な換気を確保する。ラベルを良く読む。ラベルの記載内容以外に使用しない。農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切る。使用済み容器などの洗浄液は、環境に影響のないよう配慮し適切に処理する。有効期限内に使用する。使用済み容器は他の用途には絶対に使用しない。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

接触回避: 情報なし

衛生対策: 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。

保管

安全な保管条件: 食品や飲料と区別して保管する。小児の手の届くところに置かない。施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料: 情報なし。

8. ばく露防止措置

設備対策: 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具:換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具:保護用手袋

眼及び／又は顔面の保護具:安全メガネ

皮膚及び身体の保護具:適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視:環境への放出を避けること。

9. 物理・化学的性質

外観等	: 類白色固体
臭い	: データなし
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
燃焼性	: 不燃性
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃限界	: 非該当
引火点	: 非該当
自然発火点	: 非該当
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: 非該当
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
粒子特性	: 粒子サイズ: 300 - 1700 µm95%以上

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません(第7項参照)。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない ラット(♀) LD ₅₀ >2,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	: 分類できない 製品: データなし
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外)(気体) 区分に該当しない(分類対象外)(蒸気) 分類できない(粉じん、ミスト)
急性毒性(吸入: 気体)	: 製品: GHS 定義における固体である。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 製品: GHS 定義における固体である。
急性毒性(吸入: 粉末)	: 製品: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 無刺激性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない ウサギ 極軽度刺激性
呼吸器感作性	: 分類できない 製品: データなし
皮膚感作性	: 区分に該当しない モルモット 皮膚感作性なし(有効成分テトラニリプロール及びジクロベンチアゾクスは皮膚感作性あり)
生殖細胞変異原性	: 遺伝性疾患のおそれの疑い 製品: データなし 区分2の結晶質シリカを 1.0%以上含むため、区分2に該当。
発がん性	: 発がんのおそれ 製品: データなし 区分 1A の結晶質シリカを 0.1%以上含むため、区分 1A に該当。
生殖毒性	: 分類できない 製品: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない 製品: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓、免疫系) 製品: データなし 区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)の結晶質シリカを 10%以上

誤えん有害性 含むため、区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)に該当。
 :分類できない
 製品:データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 :水生生物に非常に強い毒性、長期継続的影響によって水生生物に毒性。

水生環境有害性 短期(急性) :水生生物に非常に強い毒性
 コイ急性毒性 $LC_{50} > 1,000$ mg/l (96時間)
 オオミジンコ急性遊泳阻害 $EC_{50} 0.039$ mg/l (48時間)
 藻類生長阻害 $EC_{50} 670$ mg/l (72時間)

水生環境有害性 長期(慢性) :長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
 慢性毒性データおよび急速分解性が不明であることから急性毒性データで判定、区分1に該当。

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壌中の移動性 :データなし

オゾン層への有害性 :分類できない

モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

その他 :ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めること。
 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ秤量し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込

み、荷崩れの防止を確実に。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3077(環境有害物質、固体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第24570号(日産化学)

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質): 結晶質シリカ(政令番号165-2)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

毒物劇物取締法 : 劇物・除外品目(指定令第2条)有機シアン化合物/テトラニリプロール

海洋汚染防止法 : 有害でない物質(施行令別表第1の2)

外国為替及び外国貿易法 : 輸出貿易管理令別表第1の16の項

道路法 : 非該当

じん肺法 : 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

土壌汚染対策法 : 特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)

ふっ素及びその化合物

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話(1件 2,000円) 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話(1件 2,000円) 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。